

## コロナ禍の中での運動会について

～『保護者参観1名』の背景～

新型コロナウイルス感染症の終息は全く見えず、市内、公立学校関係者（子どもや教職員）からも100名弱の感染者が出ており、一部クラスターも発生しています。この誰もが経験したことのないコロナ禍の中、新たな生活様式に沿った運動会の準備を進めてきています。

一方、特に『保護者参観1名』について様々なご意見をいただいております。その決定に至る背景をご説明させていただきます。

### 教職員の思い

**「低中高学年ごとなど、分散運動会も考えられる…でも、やはり6年生の姿を全校児童に見せたい！」**

『保護者参観1名』の背景は、ここに尽きます。卒業式（参加）、入学式（準備）、1年生のお世話、委員会活動…今年、6年生がリーダーシップを発揮する場面は激減しました。そこで、運動会を活躍の場とさせたい。そして、その姿を全校児童に見てほしいという教職員の強い思いが、全校児童が一堂に会する運動会（山内小のリーダーである6年生を中心にそえた運動会）の実施につながりました。必然的に保護者参観スペースは少なくなります。

### 保護者の声

**「6年生は最後の運動会。両親とも参観にできないのかなあ。外だし…」**

**「ミニ運動会は子どもの数が少ない。1名にする理由が分からない。」**

といったご意見を伺っています。一方で…新型コロナウイルスへの不安から、引取り訓練の際など、学校を休ませるご家庭があるのも事実です。

### 保護者1名の背景

#### ①『1メートル程度』の間隔

- 新型コロナウイルスに係るガイドライン（横浜市教育委員会）では、活動時の児童間の距離を『1メートル程度』としている。  
⇒児童席を1人/1㎡程度で設定（例年よりかなり広い＝土の部分のほとんど）

#### ②『154メートルデッドスペース（遊具裏等）』＝保護者参観スペース

- 保護者の間隔…児童同様、『1メートル程度』とする。
- 保護者席はコンクリート部分（154メートル）とする。
- 参観に適さない場所（櫛の木、遊具の裏などのデッドスペース）がある。  
⇒各家庭、保護者1名（116名）がギリギリの線

#### ③ミニ運動会（1～5年）も『保護者1名』

- ①②に示す『間隔1メートル程度』としても、保護者2名は可能  
しかし…。ここは正直、エビデンスに基づかない『情』の話となります…。
- 6年保護者も含む全学年の公平性を鑑み、1～5年も『保護者1名』とする。

これらの背景を、ご理解いただければ幸いです。また、「ソーラン節を親にみせたい。（我が子の姿をみたい）」との声も聞こえてきます。別の日程を調整し、詳細が決まりましたらお知らせいたします。